

# 今日も「見守り活動」していますよ

## 協力者を15人増やして 30人体制にしたい



子どもたちとの交流を大切にして、今日も元気に見守り活動

今回は岡垣でも一番古い団地で高齢者も多く協力者も年々減っている百合ヶ丘自治区の「子ども見守り活動の現状」について区長の西谷里二さんに取材させていただきました。

# やまだの風

令和1年11月25日  
第48号  
山田校区コミュニティ  
運営協議会  
会長 中村 重夫



百合ヶ丘自治区長  
西谷里二さん

見守り体制はどのようになっていますか。  
現在は見守り隊17人で見守り活動をやっています。  
見守り力所は何力所ですか。  
現在3力所です、だから毎日立ってませんが、2〜3日に1度くらいになっています。  
百合ヶ丘区の児童数は。  
児童は53人ですが、ヤマダ電気の3差路を通学路にしている児童は鍋田、東高陽、西高陽、南高陽と通学する児童数は150人ぐらいになると思います。  
毎日見守りを行うにはあと何人ぐらい必要だと考えていますか。  
そうですね、あと15人増え



地域に欠かせない「シニアの力」を發揮

30人体制が維持できると毎日立てると思えますが、なかなか思うようになりません。逆に体調を崩されてやめていかれる方のほうが多いです。その少ない人数でも地域のために「シニアの力」を發揮してくれている見守り隊の皆さんには本当に感謝しています。  
**朝も見守り続けて18年**  
ところで、西谷区長は朝も登校児童を見守られているそうですが。  
はい、見守り続けてもう18年になります。  
すごいですね、きっかけはなんだったんですか。

簡単にいえば平成12年退職して、何か社会に恩返しができる社会貢献、地域に貢献できることはないかと探していたところ、ある方から朝の子ども見守りをやってみませんかと言われ、それが今日まで続いています。  
それは毎朝ですか。  
始めた時は1人で毎日立っていました。だんだんと中間が増えて5人になりました。男5人が揃ったところで担当曜日を決めて見守ることになりました。その時以来私は水曜日を担当しています。だんだんと高齢化していくなかで一人欠け、二人欠け、三人欠けて、その穴が埋まりませんでした。月曜日の穴を曾宮町会議員が、火曜日の穴を曾宮涼子さんが埋めてくれましたが、まだ木曜日と金曜日が埋まっています。その内継いでくれる人がきつと現れてくれると思っています。  
「活動は継続してこそ意味がある。社会の現状と向き合いながら、その時にできる防犯・見守り活動に取り組みたい」と語ってくれました。今後、百合ヶ丘区の「見守り隊の協力者が増えることを願っています。」

# バス通学児童 集合場所の設置と見守り

10月8日、松ヶ台方面行き茅原バス停そばにバス通学児童の集合場所が設置されました。

これは5月28日、川崎市で発生したバス停での児童殺傷事件を受けて、バス通学児童集合場所の見直しと見守り方法を検討。このことをサンレー紫雲閣

さんに相談とお願いをしたところ、子どもは国の宝といたいが、子どもを地面に座らせてバスを待たせるのは児童がかわいそうですよねと！わかりましたと快く引き受けて下さり、サンレー岡垣紫雲閣駐車場の一角を山田校区コミュニティ運営協議会が



茅原バス停の集合場所のベンチに腰掛けてバスを待つ児童たち

無償で借り受け、使わせていただくことになりました。また役場にも早急に動いていただき集合場所が完成しました。

集合場所の見守りも毎日と決めるのではなく、出来る人が、出来る時にやろうというこ

## 原 伸明 校長談話

山田校区コミュニティ運営協議会のご尽力により、茅原バス停に児童集合場所が設置されました。子ども達は、今まで以上に安心してバスを待つことができます。また、本校の子ども達は、朝夕、多くの方々に見守られ、安心して登下校することができ

ることに大変感謝しております。11月21日に行われました



完成した茅原バス停の集合場所

「子ども見守り隊の方への感謝集会」にもたくさんの方々に参加していただきありがとうございます。日頃の感謝の気持ちを伝えることが出来たと思っております。今回、バス通学をして

いる2年生の感謝の気持ちを紹介いたします。

原 りんたろう・坪井 ゆい・陣内 かなな  
小林 ゆうしん

座る所ができてうれしかったです。

車谷 りゅうき  
石橋 こうた

ベンチができて座りやすく、おもしろいと思います。

藤崎 りん・山科 そつた  
松本 あいり

今まではコンクリートに座っていたけど、ベンチができて、こしが楽になりました。

高柳 かいと

下に座るとゴツゴツしていたけど、ベンチができて、

ぜんぜんいたくありません。

大江 かなな

待っているのがきつかったけど、ベンチができて楽になりました。

烏田 ゆめ

座る場所がなかったけど、できたので、こしやひざがいたくなくなりました。

嘉津 きつぺい

いつも見守ってくれてありがとうございます。

丹原 おうた

ベンチを作っていたいただいてありがとうございます。これじゆんにすわらなくてもよいのでらくになりました。

山田 ゆぐみ

見守ってくれるので、あんしんです。大切につかいます。

佐々木 かなみ

ベンチを作っていたいただいたおかげで、つかれなくなっとうれしいです。

成合 ねいろ

# 第7回ふれあい健康いも掘りウォーキング



スタート前の集合風景



氏森神社の鳥居前を歩く参加者たち

10月26日(土)第7回山田校区「ふれあい健康いも掘りウォーキング大会」を行いました。今年、山田校区コミュニティと育成会の共同開催となりました。参加者は当日参加、支援者も含めて244人もの参加者がありました。9時に山田小学校を4班に分かれて出発。当日は晴天でウォーキング日和でしたが、前々日からの雨で農園のいも畑は少し水分を含んでいて、いも畑は軟弱でした。朝の8時から、いも畑のいもを機械で掘りましたが、いもには大量の土が付着し、水で洗い流す作業で手間取りました。一方子ども用の手掘り畝(2畝)は軟弱にもかかわらず子どもたちは元気に、移植コテを使っていもほりを楽しみ大きないもをほった時は歓声が上がっていました。また、いも蔓でも蔓リース作りを楽しみました。11時に農園を出発し、一路、山田小学校をめざしました。小学校到着後は、ペコペコのおなかを「山田名物だご汁会」でおわりを満たしていました。また帰りには「花米とたくさんのいも」をもらって秋の一日を楽しみました。

(写真提供 山田小学校主幹教諭の山崎 憲一先生)



どうだ！こんなにデカイいもを掘ったぞ



さつまいものヒゲ取りをする支援者



たくさんのいもに喜ぶ子どもたちと大量のいも



楽しいだご汁会会場



熱心にいもを掘る子どもたち

